

分科会

2023 年 7 月 2 日 (日)

2023 年度の総会記念シンポジウム 2 日目は、2 つの分科会を設けました。

第 1 分科会は、「医療・介護政策の方向性～地域に支えられる医療・福祉事業を目指して～」というテーマで研究者ならびに実践家からご報告していただきました。コロナ禍で改めて浮き彫りとなった現場で働く人々の献身性に依存した日本の医療・介護体制の問題について、これまでの医療・介護政策を踏まえつつ解説していただきました。その上で地域の医療や介護・福祉の担い手として期待されている保健医療生協や市民生協の課題や可能性について議論を深めました。

第 2 分科会は、「現代における組合員のくらしの支え方を考える－冷凍食品から考える『生協らしい』商品との向き合い方－」というテーマのもと、現在では定番のコープ商品として組合員に利用されている冷凍パンと焼きおにぎり、長崎風ちゃんぽんを製造する 3 社にご報告いただきました。報告では、3 社ともに組合員と直接コミュニケーションをとれる商品学習会は商品開発・改良を進めるにあたって極めて重要な活動であったと指摘されていました。

それぞれの分科会の内容は大変興味深く、また生協にとっても真正面から向き合っていかなければならないテーマであったと思います。当日の報告・議論の内容をすべて掲載することはできませんが、本誌が各分科会のトピックや当日の議論について理解を深める手助けになれば幸いです。

(下門 直人)

分科会で報告・コメントをいただいた方々

第 1 分科会



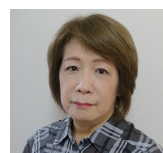
鎌谷 勇宏



眞木 高之



金山 修



川口 啓子

第 2 分科会



清川 秀樹



澤田 卓士



飛田 大輔